

授業計画(シラバス)

授業科目名	エステティック概論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1年次	10時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年 4月～6月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	エステティックの本質や定義を理解し、エステティシャンとしての使命感を育てる							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	エステティックの歴史と現状を踏まえ、今後の展望についての見方や考え方を表現する						
	技能	エステティック業界の現状を理解し、望ましいエステティック感やプロ意識を身に付ける						
	関心・意欲・態度	エステティックの本質と領域を理解し、エステティシャンとして美と健康を意識する						
	知識・理解	エステティックの社会的役割を理解し、ホスピタリティマインドを身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～2回 4月	エステティックとは何か、エステティックの歴史と現状を理解する							
3～4回 5月	エステティックの本質と領域、定義を学び、エステティックの社会的役割を理解する							
5回 6月	エステティシャンとしての心構えや理想的なエステティックをイメージし目標を立てる							
備考								
時間外での学習	エステティックの本質の理解を深めるため、課題提出を行う							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシャンの経験を活かし、エステティックサロンの現状や業務内容、また現在お客様が求めているエステティシャン像等具体的に伝え、将来の目標が立てられるようにする							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	サロン経営学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	24時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年3月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	サロンの開店から経営方法について基本的な考え方や具体的手段について学び、サロン運営の心構えを育てる							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	エステティックサロン開設のシュミレーションを行い、サロンコンセプトを打ち出す						
	技能	市場調査結果など有用な情報を適切に判断したり分析ができる						
	関心・意欲・態度	サロン開設にあたり、繁栄するサロンの条件を考えたり判断する						
	知識・理解	サロン開設の基本的な考え方や具体的手段、サロン運営と管理について理解する						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判 断・表現	技能	関心・意 欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40		100
	期末テスト		20	20	20	40		100
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年9月	現在のエステティックの現状と業界全体の状況を学ぶ							
4～6回 2年12月	現在の状況を踏まえサロン開設のシュミレーションを行う(開設の流れ・エステティシャンの一日の流れ等)							
7～9回 2年2月	サロン繁栄のための運営と管理(人材育成・技術)やりがいのある職場、併せて顧客管理、お客様満足を考える							
10～12回 2年3月	経営者としての心構え、コンプライアンスを理解する							
備考								
時間外での学習	エステティックサロンの現状を知るため、サロン見学や体験をし課題を提出する							
講師の実務経験と 授業の関係	エステティシャンの経験を活かし、エステティックサロンの現状や業務内容、また現在お客様が求めているエステティックを具体的に伝え、将来の目標が立てられるようにする							
受講補遺への メッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	エステティックカウンセリング学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	26時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年12月～2年11月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	カウンセリングの心理学的な原則に触れ、顧客心理を理解し専門的な知識を深めることで、お客様の心に響くエステティックカウンセラーとしての使命感を育てる							
授業方法	講義～実践(コンサルテーションシート記入含む)～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	エステティックカウンセラーの役割を理解し、心のメカニズムと顧客心理を分析し表現する						
	技能	カウンセラーとしての資質を身に付け、効果的に実践する						
	関心・意欲・態度	カウンセリングの重要性を理解し、顧客との良好な信頼関係を築く工夫をする						
	知識・理解	カウンセリングの流れ、カウンセラーとしての知識や姿勢理解し身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判 断・表現	技能	関心・意 欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～4回 1年12～2月	エステティックカウンセラーの役割と心のメカニズム(傾聴・受容・共感・浄化)について学び、顧客心理を理解する							
5～6回 2年4～5月	エステティックカウンセリングの流れ、カウンセラーとしての基本(聞く・話す・表情・態度)を習得する							
7～13回 2年8～11月	コンサルテーションシートを活用し、多種多様な事例(肌タイプ・体系等)をグループワークを交え研究実践する							
備考								
時間外での学習	サロン見学・体験などで、実際に行われているサロンのカウンセリングをお客様の立場で受け課題を提出する							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシャンの経験を活かし、サロンでのカウンセリングについて、成功例失敗例等具体的な内容をあげ、エステティックカウンセリングにおいて重要なポイントを伝える。またカウンセリングの環境(座る位置関係含め)やお客様のお悩みに対する対応、反応についても具体例を挙げ理解しやすくする							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	関連法規		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～6月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	小林 勝					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	エステティックに関連する法律の基礎知識を習得させ、エステティック業を営む上で安心・安全の社会的意義とその重要性を理解し、健全なエステティック業を行うための必要な能力と、エステティシャンとしての法令遵守の意識を育てる							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	法の基礎知識やエステティック業に関連する法律を学び考察し、公正に判断した表現ができる						
	技能	各種エステティック関連法規に関する、問題事例について適切な判断ができる						
	関心・意欲・態度	エステティック業界の社会的立場を踏まえ、消費者トラブルやクレームの原因とその防止策などを追及し、より良い業界にするための考えや自覚をもって責任を果たそうとする						
	知識・理解	関連法規や業界自主基準の意義を理解し、その知識を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	日本エステティック振興協議会 エステティック統一自主基準							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～2回 1年4月	法の基礎知識を理解しエステティック関連法規を学び理解する							
3～5回 1年5月	エステティックサロンやエステティシャンに関する法律が、どのような場面で関わってくるのかを知り理解する							
6回 1年6月	エステティック業界統一自主基準を学び、エステティック業における事業活動の適性を理解する							
備考								
時間外での学習	エステティックサロンの広告をもとに広告宣伝に関する法について課題提出する							
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師の経験を活かし、エステティックは自由業であることから、エステティック業を行うに際し様々な法の規制が関係することを、身近な薬事法に関する医薬・医薬部外品・化粧品の違いから分かりやすく解説し理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	衛生・消毒		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	18時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年8月～2年11月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	塚田 善幸 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	公衆衛生の意義を学び、エステティック施術に必須である具体的な衛生管理の実践を行うため、エステティシャンとしての衛生・衛生管理を理解し実践できるようにする							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	公衆衛生の定義や歴史を学び、病原微生物の発見から現在までの社会問題について分析し表現する						
	技能	各種エステティックに関連する衛生・消毒について理解し、消毒方法の選択が適切にでき						
	関心・意欲・態度	感染のメカニズム、エステティックに関連する感染症の種類と特徴、その予防法について正しく理解し、物理的・化学的消毒法の実践し衛生消毒を身に付ける						
	知識・理解	衛生の意味を正しく理解し、エステティック業に求められる衛生管理の意義と実践を理解						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年8～9月	公衆衛生の定義や歴史、感染症と感染のメカニズムを理解する							
4～6回 1年10～11月	物理的・化学的消毒方法の特徴や効果を学び、消毒の実践を行う(消毒液の濃度含む)							
7～9回 2年8～11月	エステティックにおける衛生・消毒を理解する							
備考								
時間外での学習	エステティック実技をはじめ、メイク、ネイルなどのあらゆる実習授業において、衛生消毒を実践する							
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師の経験を活かし、消毒剤の効果と特徴を理解させ、実際に各種施設などではどのような場面でどのような消毒方法や消毒剤を使用して、適切に衛生・消毒がされているのかを伝える また、エステティシャンの経験を活かし、実際にサロンで行われている衛生消毒について伝える							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	生命活動とホメオスタシス		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年9月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	小林 加津子 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ホメオスタシスは全ての生命活動の基本原理であり、環境の変化に対して体内を安定した最適な状態に保とうとする仕組みであることを具体的に理解する							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	ホメオスタシスは全ての生命活動の基本であり安定した状態を保とうとする仕組みであることを理解し、安定とは何かを考え表現する						
	技能	ホメオスタシスにエステティックのスキントッチが心身に与える影響について理解する						
	関心・意欲・態度	ホメオスタシスにストレスが大きな影響を与えることを理解し、そのことが心身に与える影響について理解し、エステティック技術に生かすことができる						
	知識・理解	ホメオスタシスについて学び、エステティックの効果がホメオスタシスと深く関りがあることを理解する						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40		100
	期末テスト		20	20	20	40		100
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年4～6月	生命とは何か、生命と適応進化の歴史を学び、生命の誕生から繁栄、細胞について学びエステティックとの関連性を理解する							
4～7回 1年5～6月	ホメオスタシスは、脳と脳の指令を全身に伝える自律神経、内分泌系、免疫系を中心とするシステムによって営まれていることを理解する							
8～9回 1年1～2月	ホメオスタシスを乱すストレスについて学び、ストレスの定義、ストレスの種類を覚える							
10～14回 2年4～9月	ストレスによる身体への影響や症状について理解し、ストレスに対するエステティックの身体的・心理的効果を学ぶ							
備考								
時間外での学習	エステティックカウンセリングにおいて、ストレスの状態とトラブルの関係性を分析し課題を提出する							
講師の実務経験と授業の関係	看護師の経験を活かし、ストレスの影響による病気について、具体的に症状等を説明し理解しやすくする エステティシャンの経験を活かし、カウンセリングにおいてのストレス度について説明し、美容との関係を理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	解剖生理学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	64時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年7月～2年11月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	有賀 潤 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解し、その上でエステティック施術を正しく行うために必要な、骨格・筋肉・血管・リンパ・神経については、さらに踏み込んだ知識を身に付ける							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	エステティック施術に関わる骨格や筋肉、血液循環などの人体の構造や働きを理解し、表現できる						
	技能	エステティック施術を効果的にするために各部位の場所と名称、働きを理解する						
	関心・意欲・態度	人体の仕組み、構造と働きを理解した上で、エステティック施術を正しく行うために必要な、骨格・筋肉・血液・リンパ・神経については、技術との関わりを更に理解を深める						
	知識・理解	人体の構造を学ぶと同時に、それぞれの機能が低下したときの体の状態を学び、安全・安心なエステティックが提供できるよう理解する						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～2回 1年7月	生命の基本である細胞の構成要素と、身体の構造を理解する							
3～14回 1年9～12月	骨格系・筋系・神経系・内分泌系について基本的な構造を理解し、エステティック技術に必要な知識を身に付ける							
15～20回 1年1～2月	呼吸器系・循環器系・消化器系について基本的な構造を理解し、エステティック技術に必要な知識を身に付ける							
21～24回 2年4～6月	泌尿器系・生殖器系について基本的な構造を理解し、エステティック技術に必要な知識を身に付ける							
25～32回 2年8～11月	実技試験に関わる事項について知識を深め、エステティック技術において禁忌に値する病気や症状についての知識を理解							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用し(特に骨格・筋肉・循環を意識する)施術を行う							
講師の実務経験と授業の関係	看護師の経験を活かし、人体の構造と併せて、各器官系における病気や疾患について説明し、エステティックを施すことでの有効な効果や場合によっては悪化させてしまうことがあることを理解させる エステティシャンの経験を活かし、エステティック技術において人体の構造を理解して施術を行うことで効果があることを理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	皮膚科学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	70時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年12月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	小林 勝 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳				講師の 実務経験	年以上	3	
授業概要	皮膚の構造・皮膚の生理機能及び臓器と栄養素との関係性・肌老化や疾患などを理解し、トリートメント際に対応できる知識を身に付ける							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	生体における皮膚の役割や美しい肌の条件を学び、肌タイプを判断し表現する						
	技能	効果的なエステティックを行うために、美容上大切な皮膚の働きを理解した上で、肌状態を見極めることができる						
	関心・意欲・態度	効果的なエステティックを行うために、肌の美しさを損ねる要因について理解した上で、各種肌トラブルの原因を探ることができる						
	知識・理解	皮膚について理解を深め、適切なエステティック施術の選択や組み立てができる						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～6回 1年4～6月	皮膚の構造と働き、生体における皮膚の役割と生理機能を踏まえ、美容上大切な皮膚の働きを理解する							
7～15回 1年9～12月	美しい肌条件に対し、肌の美しさを損ねる要因について理解する							
16～20回 1年1～2月	肌トラブルと皮膚疾患について学び、適切な手入れ法や留意点を理解する							
21～26回 2年4～6月	肌老化のメカニズムを学び日頃のケアポイントや日常生活上の留意点を理解する							
27～35回 2年8～12月	肌状態を分析し、適切なエステティック施術の組み立てと日々の生活状態などの有効なアドバイスを理解する							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しカウンセリングを行いホームケアアドバイスに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師の資格を活かし、皮膚における病気や疾患について説明し、エステティックを施すことでの有効な効果や場合によっては悪化させてしまうことがあることを理解させる エステティシアンを経験を活かし、エステティック技術において肌の構造や役割を理解して施術を行うことで効果があることを理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	栄養学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	36時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年11月～2年12月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	塚田 善幸 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	食物の栄養素と健康の関係を学び、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	栄養の基礎知識を身に付け、美や健康に必要な食生活の提案ができる						
	技能	栄養の基礎知識を身に付け、美や健康に有効な栄養管理ができる						
	関心・意欲・態度	基礎代謝と摂取エネルギーの関係や肥満や肌トラブルに関する食生活の影響を正しく理解し、自身の食生活、健康管理に役立て実践する						
	知識・理解	エステティシャンとして各栄養素の特徴と効果を理解し、その知識を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年11～12月	体と栄養の関係や栄養素の種類とそれぞれの働きについて学び、欠乏による生体への影響を理解する							
4～6回 1年1～2月	基礎代謝と摂取エネルギーとの関係を理解し、栄養状態やエネルギー収支のバランスが見れるようにする							
7～12回 2年4～7月	健康(美容)と栄養、肥満や肌トラブルの原因について学び、美しいボディラインや美肌を作るための栄養素を理解する							
13～18回 2年8～12月	サプリメントや栄養補助食品の基本的な考え方を学び、美容と栄養に関するアドバイスを理解する							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しカウンセリングを行いホームケアアドバイスに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師の経験を活かし、健康な体や美しい皮膚状態を保つためには、きちんとした食生活が重要であり、生活習慣病の防止には日頃の食生活が大きくかわることを理解させる エステティシヤンの経験を活かし、健康や美肌、理想的なプロポーションを作るための食事内容、方法についてアドバイスができるよう理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	化粧品学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年9月～2年10月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	宮川 あし子 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	化粧品の定義と役割を理解し、エステティックで使用する化粧品原料・成分の特徴効果の知識を高め肌状態に合った化粧品に関するコンサルテーションができるようにする							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	化粧品の定義を理解し、分類と特性を見極め判断し必要に応じた提案ができる						
	技能	化粧品の成分や効果を理解し、状態に合った化粧品の選択が適切にできる						
	関心・意欲・態度	各種化粧品の役割を理解し、主成分や内容成分の分析をし、肌状態に必要な化粧品の選択ができる						
	知識・理解	エステティシャンとして必要な化粧品知識を理解し、身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年9～12月	化粧品と医薬部外品の違いを薬事法から理解し、併せて化粧品の取り扱いの留意点を理解させる							
4～7回 1年1～2月	基礎化粧品・フェイシャル・ボディなど各種化粧品の目的と働きについて理解する							
8～13回 2年4～6月	化粧品原料について知識を深め、化粧品に用いられる薬剤その働きについて理解する							
14～15回 2年8～10月	化粧品と肌タイプについて知識を深め、コンサルテーションができるようにする							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しトリートメントプランやホームケアアドバイスに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	環境保全研究所における経験を活かし、エステティック使用する化粧品について、薬事法に基づき医薬・医薬部外品・化粧品の違いをわかりやすく解説し理解させる エステティシヤンの経験を活かし、施術の際に使用する化粧品の選択方法について理解させる							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	運動生理学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	16時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年9月～2年11月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	有賀 潤 / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	基本及び運動の重要性と運動による身体の働きや変化及び効果を理解し、提案できるようにする							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	運動の必要性と体内の機能向上を理解し、状態に応じた運動の提案ができる						
	技能	エステティックにおける運動生理の活用ができる						
	関心・意欲・態度	運動と体内機能の関係から肥満や肌トラブルに関する影響を正しく理解し、自身の生活、健康管理に役立て実践する						
	知識・理解	エステティシャンとして運動トレーニングに必要な知識や姿勢を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年9月	運動によって何が起るか、運動の基本的な考え方を理解する							
2～3回 1年10月	運動の作用による健康と美容への効果を理解する							
4～6回 2年4～6月	運動による栄養素の代謝について知識を深め、有酸素運動・無酸素運動について理解する							
7～8回 2年10～11月	エステティックにおいてアドバイスができるよう、実際に運動をしながらどのように作用・効果があるのか学ぶ							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しホームケアアドバイスに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	看護師の経験を活かし、生活習慣病の要因について説明し、健康のために運動が必要なことを理解させる エステティシャンの経験を活かし、理想のプロポーションに近づけるための運動法を伝授する							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	サロンでの救急法		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1年次	6時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次3月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	エステティシャンとして必要な救急法を理解し、緊急時の際に可能な限り対応できるようにする							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	サロン内での緊急事態に備えて、冷静な判断ができる						
	技能	サロン内での緊急事態時に、有用な情報を適切に判断したり分析ができる						
	関心・意欲・態度	多種多様な緊急事態に備えて、それぞれ状態に応じて最善の対応を身に付け、責任を果たそうとする						
	知識・理解	緊急時に対応できる応急手当と一時救命処置の知識を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評価	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	長野県 救命救急のてびき							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年3月	救急法の基礎知識を学び、救命手当と応用手当を理解し、サロンにおいて必要な知識と技術を身に付ける							
備考								
時間外での学習	得た知識を活用し、万が一の時や緊急時に役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシヤンの経験を活かし、実際にサロンで起きた事例をあげ、その対処について具体的に説明する							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	フェイスナル理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	36時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年11月	時限	資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	安全で安心の出来る施術が提供でき、お客様分析に基づき対応力のある施術とアドバイスができるエステティシャンを育てる							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	フェイスナルトリートメントの効果に期待している顧客心理に、応えようとする姿勢が見られる						
	技能	エステティシャンとして望ましいエステティック観やプロ意識を身に付ける						
	関心・意欲・態度	エステティシャンとして各種お悩みに応じた技術がプランニングできると同時に、信頼関係を築く工夫をする						
	知識・理解	エステティシャンとしてフェイスナルトリートメントに必要な知識や姿勢を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	エステティック協会 DVD参照							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年4月	フェイスナルエステティックの目的と効果を学び、フェイスナルエステティックの流れを理解する							
2回 1年4月	心地よく過ごしていただくための事前準備と、施術を行う際に重要なカウンセリングの内容について理解する							
3～6回 1年5～6月	フェイスナルトリートメントにおける一つひとつの工程について、目的・手法について理解する							
7～10回 1年8～1月	使用する電気機器について①機器の目的②使用方法③注意事項・禁忌事項を理解し、正しく使用できるように理解する							
11回 2年6月	フェイスナルトリートメントの構成を理解し、フェイスナルコースの組み立てができるようにする							
12～16回 2年9～11月	各種肌タイプやトラブルの事例ごとに組み立てたフェイスナルトリートメントについて、説明ができるようにする							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しカウンセリングをしながらトリートメントプランに役立てる							
講師の実務経験と 授業の関係	エステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を活かし、エステティック技術のすべての理解を深める							
受講補遺への メッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ボディ理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	24時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年5月～2年10月	時限	資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ボディトリートメントを行う上でそれぞれのトリートメントの基本手技、目的、効果、禁忌事項などを理解する							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	ボディトリートメントの効果に期待している顧客心理に、応えようとする姿勢が見られる						
	技能	エステティシャンとして望ましいエステティック観やプロ意識を身に付ける						
	関心・意欲・態度	エステティシャンとして各種お悩みに応じた技術がプランニングできると同時に、信頼関係を築く工夫をする						
	知識・理解	エステティシャンとしてボディトリートメントに必要な知識や姿勢を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	エステティック協会 DVD参照							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年5月	ボディトリートメントの目的と効果を学び、トリートメントの流れを理解する							
2回 1年5月	ボディトリートメントのための事前準備と、施術を行う際に重要なカウンセリングの内容について理解する							
3～6回 1年6～11月	ボディトリートメントにおける一つひとつの工程について、目的・手法について理解する							
7～8回 1年1月～2年6月	使用する電気機器について①機器の目的②使用方法③注意事項・禁忌事項を理解し、正しく使用できるように理解する							
9回 2年9月	ボディトリートメントの構成を理解し、ボディコースの組み立てができるようにする							
10～12回 2年9～11月	各種体系やトラブルの事例ごとに組み立てたボディトリートメントについて、説明ができるようにする							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しトリートメントプランに役立てる							
講師の実務経験と 授業の関係	エステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を活かし、エステティック技術のすべての理解を深める							
受講補遺への メッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	脱毛理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	18時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年7月～2年9月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ワックス脱毛を中心に、脱毛に関する毛髪理論と各種脱毛技術に関する基本的な知識を習得する							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	各種脱毛技術と現在の脱毛業界の現状を踏まえ、安心・安全な提案ができる						
	技能	エステティシャンとして望ましいエステティック観やプロ意識を身に付ける						
	関心・意欲・態度	エステティシャンとして各種お悩みに応じた技術がプランニングできると同時に、信頼関係を築く工夫をする						
	知識・理解	エステティシャンとして脱毛技術に必要な知識や姿勢を身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～2回 1年7～8月	①体毛の役割②毛の構造③毛周期④体毛の種類⑤体毛とホルモンについて学び、理解する							
3～5回 1年10～11月	ワックス脱毛と他の脱毛法との違いを明確に理解する							
6～7回 1年1～2月	ワックス脱毛の目的と効果や禁忌事項、注意事項を理解させる							
8～9回 2年9月	ワックス脱毛の施術の流れや脱毛後の肌状態やホームケアアドバイスを理解する							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用し脱毛技術に役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシャンとして数多くのお客様の体毛のお悩みをケアした経験を活かし、ワックス脱毛以外の技術も含め理解を深める							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	メイク理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)												
			学科			ビューティ ビジネス科	1年次	16時間												
必修・選択	必修	その他履修条件																		
開講期	1年4月～12月	時限		資格対応	JMA日本メイクアップ技能検定/Ajesthe上級認定エステティシャン															
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3												
授業概要	メイクアップに必要な基本的な知識を身に付け、素材を生かしより美しく仕上げるためのメイクアップ技術のポイントを理解する																			
授業方法	講義～実践～筆記試験																			
授業目標	思考・判断・表現	メイクアップの基本から応用技術までを身に付け、顔分析をしたメイクアップの提案ができる																		
	技能	お顔やパーツの形態に合わせ、メイクアップの分析ができる																		
	関心・意欲・態度	メイクアップの基本から応用技術までを身に付け、各自に合ったメイクアドバイスができる																		
	知識・理解	それぞれの個性を生かしながら、メイクアップに必要な知識を身に付け活用できる																		
	備考																			
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)													
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40		100												
	期末テスト		20	20	20	40		100												
	合計																			
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する																			
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する		<table border="1"> <tr> <td>100点法</td> <td>100～90</td> <td>89～80</td> <td>79～60</td> <td>59～30</td> <td>29～0</td> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table>						100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0	5段階評価	5	4	3	2	1
100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0															
5段階評価	5	4	3	2	1															
テキスト・教材	エステティック協会テキスト(6冊) JMA日本メイクアップ検定協会テキスト(1～3級)																			
その他参考書																				
授業計画																				
実施回・期間	授業内容・目標																			
1～3回 1年4～6月	メイクアップ技術を行う上で重要な①形態学②色彩学③実験心理学について学び、理想のプロポーションを理解する																			
4～6回 1年8～11月	JMAメイクアップ検定2・4級の技術工程やポイント、検定課題の仕上がりについて理解する																			
7～8回 1年12月	JMAメイクアップ検定1級の4つのメイクイメージの特徴を学び、技術工程や検定課題の仕上がりを理解する																			
備考																				
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しメイクアップや検定試験に役立てる																			
講師の実務経験と授業の関係	美容部員としての経験を活かし、色のバリエーションの活用法などを伝授する エステティシヤンの経験を活かし、エステティック後のお肌を守り維持するメイクアップを伝授する																			
受講補遺へのメッセージ																				
備考																				

授業計画(シラバス)

授業科目名	ネイル理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	16時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年12月	時限		資格対応	JNECネイリスト技能検定3級			
担当教員	稲井 奈々 / 春原 千晶					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	正しく安全に施術を行う為に、爪や身体に関する知識の学習、正しい衛生管理を学び、適切なネイルサービスを行えるようにする。							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	ネイルの発祥から現代に至るまでの変化を学び、ネイリストの必要性を考える。						
	技能	爪のコンディションを保持できるよう、身体全体の知識を身に付ける。						
	関心・意欲・態度	ネイリストの守るべき衛生基準や法規を理解した上で、ライフスタイルや好みに合ったネイルサービスを身に付ける。						
	知識・理解	爪の基礎理論や衛生に関する配慮等、安全で快適なサービスの重要性について理解する						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	検定試験(筆記試験)		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	JNAテクニカルシステム ベーシック							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～2回 1年4月	ネイルの歴史と、ネイルの技術には様々な種類があり、お客様の要望に合わせて使い分けることを理解する。							
3～5回 1年5月	爪の構造と名称を覚え、それぞれの部位がどのような役割を果たすのか理解する。							
6～7回 1年6月	爪や皮膚の病気、種類や感染有無等の特性を学び、適切な判断(消毒等)ができるようにする。							
8回 2年12月	お客様に適切かつ満足していただけるサービスを提供するために、テクニックだけでなく内面の充実も大切だと理解する。							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しネイル技術や検定試験に役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	ネイリストは適切なネイルサービスを提供する仕事ではあるが、爪の仕組みや働き、解剖理論等を理解し施術することで、お客様との信頼関係が築け、より満足していただけることを理解させる。							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	トータル理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	10時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年12月～2年2月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajesta上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	エステティックを行う際に必要な知識を身に付けた上で、多種多様のエステティック技術があることを学び、応用技術を身に付ける							
授業方法	講義～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	基本的なエステティック施術を理解した上で、ご要望に合ったトリートメントを考え提案することができる						
	技能	ご要望や目的を考慮し、トリートメントプランを立てる						
	関心・意欲・態度	ご要望や目的に対し、最善でかつ安全・安心な技術提供するための工夫がなされ責任を持ってお応えしようとする						
	知識・理解	エステティックに関する総合知識を養い身に付ける						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	中間テスト(単元テスト)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年12月	エステティックに必要な知識を身に付けた上で、各種目的別に行うエステティック施術コースをトータルで理解する							
4～5回 2年2月	エステティック業界で注目されているエステティック技術・手法について取り上げ、目的と効果を理解する							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しトリートメントに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を活かし、エステティック技術のすべての理解を深める							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	各種セラピー理論 (アロマ・タラソ・ストーン)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	48時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年2月	時限		資格対応	AEAJ日本アロマ環境協会アロマ検定			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	アロマセラピーを中心各種セラピーに関する知識を幅広く学び、各種セラピーの心身に対する効果・作用を身に付ける							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	各種トリートメントに使用する化粧品やオイルに含まれる香料の効果について知識を深め、顧客の状態に合った香りの効果による判断と提案ができる						
	技能	各種香り(精油)の特徴や効果を学び、状態に応じた選択や提案ができる						
	関心・意欲・態度	香りを通して自分自身の心や体と向き合い、前向きな思考や態度へと導く						
	知識・理解	香りをはじめ各種セラピーの身体に対する効果を理解し、安全に扱えるよう知識を深める						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	アロマ検定(筆記試験)		20	20	20	40	100	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評価	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAJ日本アロマ環境協会 公式テキスト1・2級							
その他参考書	アロマセラピー公式問題集							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～3回 1年4～6月	各種セラピーの基本知識を学び、セラピー＝療法の意味を理解する							
4～15回 1年8～10月	ホリスティックケアについて学び、病気や不調の要因となったライフスタイルやストレスなど包括的にとらえて整えるケアを理解する それを踏まえ、各種香り成分(精油)の効果作用について知識を深める							
16～17回 2年4～5月	各種セラピーについて理解をしたところで、症状や状態に合わせたクラフト制作に必要な機材や最適な香り成分(精油)の選択ができるようにする							
18～24回 2年10～2月	オイルトリートメントの際に配合する精油の選択において、各不調の状態に合わせた効果作用のある精油成分の知識を深める							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しトリートメントに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	エステティシャンとして、実際にサロンで活用しているトリートメントオイルや芳香剤の効果と必要性を説明する							
受講補遺へのメッセージ								

授業計画(シラバス)

授業科目名	東洋医学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位 (単位時間)
			学科			ビューティ ビジネス科	1・2年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年8月～2年5月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajesthe上級認定エステティシャン			
担当教員	横矢 直之					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	東洋医学の歴史や基礎理論を学び、東洋医学の診断法や治療、東洋医学に基づいたトリートメント効果を理解する							
授業方法	講義～実践～筆記試験							
授業目標	思考・判断・表現	東洋医学の考え方を学び、西洋医学との違いを考え整理する						
	技能	東洋医学における経路やツボについて学び、経路やツボの場所や位置を確認できる						
	関心・意欲・態度	東洋医学をエステティックに応用する際、それぞれの経路やツボに効果・作用があることを理解し、実践に生かし活用する						
	知識・理解	エステティック施術において、特に圧迫法で指圧するツボについて理解を深める						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	期末テスト		20	20	20	40	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年9月	東洋医学の基礎理論、考え方を理解する							
2～5回 1年10～11月	東洋医学における経路とツボについて位置を確認しその効果と作用を理解する							
6～9回 2年9～10月	東洋医学に基づいたトリートメントについて学び、トリートメントを行う際の一連の流れや注意事項を理解する							
備考								
時間外での学習	実技授業において、得た知識を活用しトリートメントに役立てる							
講師の実務経験と授業の関係	鍼灸師の経験を活かし、東洋式マッサージを行う際の手技の構成やツボのとらえ方を伝授し、力加減等効果的な手法が見極められるようにする							
受講補遺へのメッセージ								
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	フェイシャル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	310時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1.2年	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajesthe上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	AEA認定上級エステティシャン・Ajesthe実技試験に向けての技術習得							
授業方法	理論～展示～実習～実技試験							
授業目標	思考・判断・表現	フェイシャルエステティックの意義、学ぶ目的を考える。						
	技能	フェイシャルエステティックの作用・効果を理解し、正確なテクニックを身に付ける。						
	関心・意欲・態度	接客や衛生面等も踏まえ、安心安全なトリートメントができるようになる。						
	知識・理解	皮膚学や解剖学を理解した上で、モデルに合わせたテクニックができるようになる。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	学期末テスト		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 4～6月	事前準備・接客・衛生・クレンジング技術の体得(エステティックの基本を理解し、スムーズにクレンジングを行う)							
1年 6～10月	マッサージ6手技(各手技の違いを理解するとともに、血液やリンパ液、筋肉の走行を理解したマッサージを体得する)							
1年 11～3月	バック・ディープクレンジング(皮膚の理解をした上で、正しい機器の使用ができる)							
2年 4～7月	フェイシャル機器(肌状態に合わせ機器の選択をし、正しく使用できる)							
2年 8～12月	応用テクニック(基礎技術を身に付けた上で、モデルに合わせたオリジナルテクニックを体得する。)							
2年 1～3月	カウンセリングに基づいたトリートメント(最適なトリートメントを考え、実践することができる。)							
時間外での学習	練習回数を重ね正しい技術と理解を深める為、課題提出を行う。							
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではクラスメイト同士が相モデル(同年代)で実習を行うが、現場では幅広い年齢層のお客様や、肌質・肌タイプに合わせた技術を行うため、エステティシャンとしての経験を授業に合わせて伝えていくことでイメージが付きやすく、就職後スムーズに技術に入りやすくなる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ボディ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	260時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1.2年	時限	資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajesthe上級認定エステティシャン				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	AEA認定上級エステティシャン・Ajesthe実技試験に向けての技術習得							
授業方法	理論～展示～実習～実技試験							
授業目標	思考・判断・表現	ボディエステティックの意義、学ぶ目的を考える。						
	技能	ボディエステティックの作用・効果を理解し、正確なテクニックを身に付ける。						
	関心・意欲・態度	接客や衛生面等も踏まえ、安心安全なトリートメントができるようになる。						
	知識・理解	理論を理解した上で、モデルに合わせたテクニックができるようになる。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	学期末テスト		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 5～7月	事前準備・接客・衛生・下肢後面マッサージの体得(ボディトリートメントの基本を理解し、正しい姿勢で施術を行う)							
1年 9～12月	マッサージ臀部・腰背部(骨格、筋肉等を理解した上で、的確な施術を体得する)							
1年1月～2年7月	マッサージ前面(骨格、筋肉等を理解した上で、的確な施術を体得する)							
2年 8～9月	ボディ機器(肌状態に合わせ機器の選択をし、正しく使用できる)							
2年 10～12月	応用テクニック(基礎技術を身に付けた上で、モデルに合わせたオリジナルテクニックを体得する)							
2年 1～3月	カウンセリングに基づいたトリートメント(最適なトリートメントを考え、実践することができる)							
時間外での学習	練習回数を重ね正しい技術と理解を深める為、課題提出を行う。							
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではクラスメイト同士が相モデル(同年代)で実習を行うが、現場では幅広い年齢層のお客様や、お悩みや要望に合わせた技術を行うため、エステティシャンとしての経験を授業に合わせて伝えていくことでイメージが付きやすく、就職後スムーズに技術に入りやすくなる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	脱毛実技 (ワックス・美容ライト)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	40時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	年5月～2年12月	時限		資格対応	Ajesthe上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ワックス脱毛・ライト脱毛の技術習得							
授業方法	理論～展示～実習～実技試験(ワックスのみ)							
授業目標	思考・判断・表現	脱毛の意義、学ぶ目的を考える。						
	技能	用具の使い方・ワックス塗布・ペーパーの使用法を身に付ける。						
	関心・意欲・態度	接客や衛生面等も踏まえ、安全に技術を行うことができる。						
	知識・理解	肌状態や毛質によって、的確に用具・用材を使い分けることができる。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	期末テスト		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(15:美容脱毛学)エステティック協会テキスト(技術編:Ⅰ)							
その他参考書	人体解剖図							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 5月	ライト脱毛講習(ライト脱毛の知識・機器の使用方法・デモンストレーション)							
1年 7月	ライト脱毛の実践(適正なボリューム設定・正確な照射を体得する)							
1年 8～10月	ワックス脱毛の実践(ワゴンセッティング・衛生管理・使用手順を理解し実践する)							
1年 11～2月	ワックス脱毛の実践(ワックス脱毛塗布～残ワックスの処理が的確にできる)							
2年 4月～12月	ワックス脱毛の実践(ツイー징・鎮静・仕上げの手順と正しい用具の使い方が分かる)							
時間外での学習	練習回数を重ね正しい技術と理解を深める。							
講師の実務経験と授業の関係	脱毛は簡単で気軽に行える技術ではあるが出血や皮膚トラブルを招くこともあり、実際のサロンではクレームも多い施術な為、正しい理解と技術習得が不可欠である。現場経験を生かし毛と肌の状態を見極め、就職後スムーズに技術に入れるよう指導する必要がある。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ネイル実技		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティビジネス科	1年・2年次	120時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年1月	時限		資格対応	JNECネイリスト技能検定1.2.3級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級			
担当教員	稲井奈々 / 春原千晶					講師の実務経験	年以上	3
授業概要	ネイル検定・ジェルネイル検定取得に向けての技術習得。 質の高いネイルサービスをお客様に提供できるよう、ネイル全般を理解し技術を磨いていく。							
授業方法	展示～実習～評価～検定試験							
授業目標	思考・判断・表現	ネイルサービスの意味と目的、技術体系について考える。						
	技能	基本テクニックをマスターし、サロンで通用する技術を体得する。						
	関心・意欲・態度	技術のみならず、ネイリストとして心のこもったサービスを目指す。						
	知識・理解	それぞれの技術の特徴と違いを細かく知り、施術に役立てる。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	検定試験		10	50	30	10	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評価	5	4	3	2	1
テキスト・教材	JNAテクニカルシステム ベーシック							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1～14回 4月～7月	ネイル基本技術(ポリッシュオフ・ファイリング・クリーンアップ・カラーリング・アートを体得する)							
15～17回 10月～11月	ジェルネイル技術(プリパレーション・ジェルカラーリング・ジェルアート・ジェルオフを体得する)							
18～19回 1～2月	リペア・チップオーバーレイ(爪が傷ついた際の修復法が分かる)							
20～24回 4月～7月	スカルプチュア・ジェルアート・ミックスメディアアート(立体作品の作り方が分かる)							
25～26回 12～1月	オリジナルアート作品制作(様々な技術を用いて、個性溢れる作品を造ることができる)							
時間外での学習	日々のトレーニングを行い、身に付けた技術力を維持していく。							
講師の実務経験と授業の関係	指先(爪)はお客様の目に触れやすく、繊細な技術が求められる。お客様によって異なる爪の厚さや形等にも対応できるよう、実践的な指導が求められる。ネイリストとしての経験を授業に合わせ伝えていくことで、就職後スムーズにコース提供ができるようになる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	メイク実技		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	120時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	年4月～2年12月	時限		資格対応	JMAメイクアップ技術検定1.2.3級			
担当教員	本田 真理 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	メイクアップに必要な基本をしっかりと身に付け、モデルの立場を考えながら学習を進める。 知識や技術を持ち、プロフェッショナルな技術を習得する。							
授業方法	展示～実習～評価(検定試験)							
授業目標	思考・判断・表現	モデルの要望・モデル顔型等に合わせたメイクプランをバランスよく考える。						
	技能	なりたいイメージやモデルの魅力を最大限に引き出すためのメイクを施し、表現する。						
	関心・意欲・態度	学んだ知識や技術を自身のメイクに応用し、好感の持てるメイクをする。						
	知識・理解	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用法を理解し、実践する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判 断・表現	技能	関心・意 欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	検定試験		10	50	30	10	100	
	実技試験		30	40	10	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	JMAメイクアップ技術検定テキスト / シュウウエムラ検定テキスト							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 4月～8月	ベースメイク～ベーシックメイク(肌トラブルを自然にカバーし、骨格修正を行い美しく仕上げることができる)							
1年 9月～11月	ソフトメイク・シャープメイク・アイブロウ・リクルートメイク(課題に沿ったメイクを施し、違いを出すことができる)							
1年 12月～2月	シュウウエムラメイク(時間内に指定項目の技術を行うことができる)							
2年 6月	顔分析・トレンドメイク(顔の骨格とパーツバランスを理解し、目的に沿ったメイクを施すことができる)							
2年 12月	和装メイク(成人式等の和装にあったメイクを理解し施すことができる)							
時間外での学習	相モデル練習を行いモデルに合わせたメイクを施す。練習回数を重ねることにより、短時間で手際よくメイクができるようになる。							
講師の実務経験と授業の関係	顔型や各パーツのバランスだけではなく、色、質感、濃さ、表情のクセ、メイクの途中変化など、メイクには多くの要素を理解する必要がある。現状を正しく捉え、お客様のご要望に応えるために経験豊かな講師が指導にあたる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	カウンセリング実技		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年12月～2年12月	時限		資格対応	AEA認定上級エステティシャン/Ajeste上級認定エステティシャン			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	エステティックは実用的、機能的な施術面だけでなく、カウンセリングも含めた精神的、心理的な面も重要だと理解させる。お客様の期待に応え、肌に悩みを効果的に行うためのカウンセリングを習得する。							
授業方法	展示～手順指導～実践～評価							
授業目標	思考・判断・表現	お客様の情報を収集し、何が必要なのかを専門的に考え判断する。						
	技能	お客様の気持ちに寄り添い、要望に応じた最適なプランニングを行う。						
	関心・意欲・態度	的確にお客様の情報を捉え、どんな要因が影響しているのか追及する。						
	知識・理解	的確な肌や身体の分析力、最適なトリートメントを構成する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	コンサルテーションシート完成度		30	20	20	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(12: エステティックカウンセリング) エステティック協会テキスト(理論編: II)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 12月～1月	カウンセリングの流れ、カウンセリング手順を理解する							
2年 4月～5月	コンサルテーションシートの記入方法(化粧品成分・効果を理解し選択できる)							
2年 8月～9月	実際のモデルの肌や身体に触れ、肌質や肌・身体状態を触診する							
2年 10月～12月	モデルに最適なトリートメントを組み立て、的確な内容説明を行う							
時間外での学習	日頃から友人や家族等の肌や身体状態を観察し、客観的な目で現状を見極める力を身に付ける。分析をし課題を提出する。							
講師の実務経験と授業の関係	一人ひとりのお客様の望む美容上の要望を満たす為には、専門的な知識や技術が必要である。多くのお客様と接してきた経験を生かし、それぞれ違う悩みや不安を解決するために具体例を挙げ、正確な判断ができるよう指導する。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	模擬サロン実習		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	36時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年6.3月 2年6.2月	時限		資格対応				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	お客様の気持ちに寄り添い、ホスピタリティマインドを持ってサービスを行う。 幅広い年齢、さまざまな要望に応じて最適なトリートメントを提供し、より実践的な技術力を身に付ける。							
授業方法	事前準備～実践～振り返り							
授業目標	思考・判断・表現	外部実習の意味や目的、自分の役割を具体的に考える。						
	技能	お客様の要望に応じた技術を提供し、達成感を感じる。						
	関心・意欲・態度	お客様やクラスメイトとの関わりを考え、臨機応変に対応する力を付ける。						
	知識・理解	正しい知識や高い技術力の必要性が分かり、今後の学習に活かしていく。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判 断・表現	技能	関心・意 欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	AEAテキスト(18冊)エステティック協会テキスト(6冊)							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年6月	校外実習(ハンドマッサージ・メイク・ネイルケア・ネイルカラー)決められた時間の中で技術提供をする。先輩のアシストを行							
2回 1年3月	来校実習(フェイシャルトリートメント・ボディトリートメント)クラスで協力しながらお客様によりよい技術を提供する							
3回 2年6月	校外実習(エステ・ジェルネイル・メイク他)技術はもちろん接客も重視しながら、お客様の満足度を高める							
4回 2年2月	来校実習(2年間の総まとめ)ご来店いただいたお客様にご満足いただけるよう、自ら考え行動する							
時間外での学習								
講師の実務経験と 授業の関係	若い女性だけでなく、中高年齢者などあらゆるお客様に来店していただくことで、普段学ぶことのできない肌や身体に触れる機会となる。しかし多くのお客様が来店されると様々なトラブルが起こることもあるため、講師の現場経験を生かし、臨機 応変に対応することが必要である。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	総合実習		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1・2年次	422時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1.2年	時限		資格対応				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	到達目標に向け、より充分な技術を習得する。技術の再確認を行う。							
授業方法	学生の技術状態を把握し、補足説明や技術指導を繰り返し行い、完成度を高める。							
授業目標	思考・判断・表現	自身の技術レベルを判断し、技術向上するために必要なことを考える。						
	技能	正確な技術とモデルに合わせた技術を身に付ける。						
	関心・意欲・態度	自分の技術力を見つめ直し、課題を見つけ取り組む。						
	知識・理解	技術に必要な知識や理論を理解した上で、技術が行える。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	技術テスト		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年4月～2年3月	授業内容の復習、反復練習が必要な時期に適宜に行う							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	学生にとって、技術の進歩スピードは異なる。経験豊富な講師が指導にあたることで、一人一人に合わせた具体的な指導することができ、学生の技術力向上に繋がる。							
備考	必要に応じて、学校行事に向けた技術指導を行う。							

授業計画(シラバス)

授業科目名	各種セラピー実習		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティビジネス科	1年・2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年4月～2年10月	時限		資格対応	AEAJ日本アロマ環境協会アロマセラピー検定1級			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の実務経験	年以上	3
授業概要	アロマセラピーに関する実践的な知識を幅広く学び、化粧品を作製しながら日常に取り入れるための具体的な活用法を学ぶことでより深く理解する。							
授業方法	準備～展示～作製～実際の使用							
授業目標	思考・判断・表現	効能効果、注意事項などを理解した上で精油を選択する。						
	技能	精油の選び方、香りの試し方を正しく使用し、理解する。						
	関心・意欲・態度	精油の香りが心身に働きかける作用を理解し、自身に使用する。						
	知識・理解	アロマセラピーの安全性を理解した上で、正しい使用法を身に付ける。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	精油の使用方法		20	30	20	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	アロマセラピー検定 公式テキスト							
その他参考書	アロマセラピー公式問題集							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1年 4～5月	香りの試し方、精油の楽しみ方の実践(芳香浴法・沐浴法を実践し、使用方法や注意事項が分かる)							
1年 6月～8月	香りの試し方、精油の楽しみ方の実践(吸入法・フェイシャルスチーム法を実践し、使用方法や注意事項が分かる)							
1年 9～10月	アロマクラフト制作(キューティクルオイルを制作し、精油の特徴や基材について理解する)							
2年 4～10月	アロマクラフト制作(ハンドクリーム・オリジナル石鹸を制作し、精油の盗聴や基材について理解する)							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	思わぬトラブルを未然に防ぐために、事例を挙げ注意ポイントを伝える。ルールをきちんと守ることの大切さを理解させる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	リクルート		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年1月～2年6月	時限		資格対応				
担当教員	マイナビ / 春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	就職活動に向けての心構え、就活スケジュールを立て企業研究を行う。 就業の基礎知識やマナーの確認、履歴書記入方や面接練習などの具体的な指導を行う。							
授業方法	講義～企業研究～履歴書・面接指導							
授業目標	思考・判断・表現	自分の将来について深く考え、働く意味を明確にする。						
	技能	自分が目標とする内定までのスケジュール立てと目標を立てる。						
	関心・意欲・態度	気になる企業を見つけ、企業の基本的な情報を読み解く。						
	知識・理解	履歴書の記入、内容に沿った受け答えが出来る様考える。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	合計							
評価の表示								
評価の特記事項								
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年1月	就職活動スタートアップ講座(学生から社会人になることへの意識付け)							
2回 2年5月	履歴書記入・自己PR分作成(目標企業に対して、内容の深い書類を作成)							
3回 2年6月	内定お礼状、年賀状の記入例(必要書類を時期に合わせて発送できるよう準備する)							
時間外での学習	目標と内定までの動きを決め、情報収集を行う。 気になる企業には積極的にエントリーし、会社説明会に参加していく。							
講師の実務経験と授業の関係	美容業界ではどのような人材が求められているのか、業界ならではの面接のポイント等を抑えながら具体的に指導していく。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	販売実践学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年・2年次	8時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年2月 2年12月	時限		資格対応				
担当教員	亀和田英靖					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	就職後販売に悩む学生が多いことから、苦手意識を無くし販売にはプロセスがあるということを理解させる。長期に活躍できる人材育成をするために、就職を見据えた事前指導を行い就職後に備える。							
授業方法	講義～自己開発～グループワーク～まとめ							
授業目標	思考・判断・表現	店販の必要性を考え、お客様の信頼を得ることの重要性を理解する。						
	技能	お客様のタイプによってアプローチの仕方を変え、販売に繋がられる。						
	関心・意欲・態度	お客様のタイプを見極め、最適な関わり方を判断し実践する。						
	知識・理解	販売に繋がる正しいプロセスを理解し、身に付ける。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
評価の表示								
評価の特記事項								
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年2月	お客様のタイプに合わせ、コミュニケーションの取り方を変える必要性を学ぶ							
2回 2年12月	店販の必要性を理解し、具体的な将来像を描いていく							
時間外での学習	サロン見学や体験をし、実践販売を学ぶ。							
講師の実務経験と授業の関係	サロンでは施術だけでなく、より効果を持続させるためにもホームケアが必要になる。販売に対するネガティブイメージを払拭し店販販売もできる人材を育てるために、豊富な経験を基に実践を交えて講義を行う。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	秘書		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1年次	40時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年 10月～2月	時限		資格対応	秘書技能検定2級			
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	現実の社会でも求められる「人柄」を育成し、会社常識や社会性を身に付け社会の中で自信をもって仕事をする事ができるよう、理論や接遇を理解し習得する。							
授業方法	講義～確認テスト～解説							
授業目標	思考・判断・表現	仕事を行うについて備えるべき要件を考える。(職業人としての心得)						
	技能	ビジネスマナー、一般的なマナーを心得られる。(身だしなみ含)						
	関心・意欲・態度	様々な場面を想定し、正しい判断ができるようになる。						
	知識・理解	会社常識や一般常識を理解し、実践していく。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	検定試験		20	20	30	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	秘書検定2級 クイックマスター							
その他参考書	秘書検定2級 実問題集							
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年10月	必要とされる資質(臨機応変な判断を学ぶ)							
2回 1年11月	職務知識(業務をどう行うか、自分の役割や機能を理解する)							
3回 1年12月	一般知識(社会常識用語、時事問題を学ぶ)							
4回 1年1月	マナー接遇(敬語や接遇用語等の交際業務を理解する)							
5回 1年2月	技能(会議や文書作成を実践で理解する)							
時間外での学習	基礎知識を踏まえた上で、日常生活に応用して生かしていく。 過去問題や模擬問題を定期的にテストする。							
講師の実務経験と授業の関係	職場社会の実際はほとんどが応用であり、TPOに合わせて必要な知識と技能を生かしていかなければならない。 講師の現場経験を交えながら講義することで、これから社会に出る学生もイメージを持ちやすくより理解を深めることができる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ブライダルエステ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	2年次	18時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年 10月12月	時限		資格対応				
担当教員	春原 千晶 / 池田 真由 / 飯澤 友巳 / 小宮山 圭					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルに於いてのエステティックの役割と可能性を学ぶ。通常エステティックとの技術の違いはもちろん、接客やメンタル面でのカウンセリングも重視していく。							
授業方法	講義～展示～実践(技術・モデル)							
授業目標	思考・判断・表現	近年のブライダルでは、外面と内面のケアが必要になることを考える。						
	技能	専用化粧品の効果的で正しい使用法を学ぶ。						
	関心・意欲・態度	エステティシヤンの心構え(お客様の気持ちに最大限寄り添う)						
	知識・理解	ブライダルエステに多いトラブルと対処法を理解する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	相モデルによる実践		10	30	30	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 2年10月	ブライダルエステの考え方と実際/ロールプレイング(ブライダルエステの特徴を学び、興味・関心を高める)							
2回 2年12月	信頼関係を築くカウンセリングとポイントについて/ロールプレイング(お客様との信頼関係の大切さがわかる)							
3回 2年12月	ブライダルエステ実習(復習)(通常エステとの違いがわかる。エステの奥深さを知る)							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	現役セラピストと接することで、机上では学ぶことのできない刺激や理解をもたらす。また基礎の大切さを改めて感じさせるとともに、現場の楽しさを伝え夢と希望を与えることができる。							
備考	お客様にとって変えることのできない「とても大切な日」のご準備をお手伝いさせて頂くという意識を大切にする。							

授業計画(シラバス)

授業科目名	ブライダルメイク		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	2年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年 4月7月	時限		資格対応				
担当教員	シユール 網野					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルに於いてのメイクの役割と特徴を学ぶ。 和装や洋装、カラードレス・ウェディングドレスでのメイク、短時間でのメイクチェンジ技術の習得。							
授業方法	講義～展示～実践(技術・モデル)							
授業目標	思考・判断・表現	お客様の要望や、ブライダルシーンを想定したメイクプランを考える。						
	技能	最適なメイクアップ化粧品を選択し、モデルに合ったメイクを施す。						
	関心・意欲・態度	モデルに合わせ工夫する。						
	知識・理解	なりたいたいイメージに近づけるための理論を正しく理解する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	相モデルによる実践		10	30	30	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 2年4月	洋装メイク(ドレスの色やデザインによつての、メイク用品やテクニックの違いを学ぶ。)							
2回 2年7月	ブライダルメイク発表(メイクを含めたトータルバランスを考える。)							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	ブライダルの現場では基礎技術に加えて、照明や写真移り、よりメイク崩れをしないためのテクニック等が必要になってくる。現場の臨場感を伝えながら、経験豊かな講師が指導にあたる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ブライダルネイル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	2年次	6時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年 2月	時限		資格対応				
担当教員	稲井奈々					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルに於いてのネイルの役割と特徴を学ぶ。 ドレスに合ったネイルアートを理解し、ブライダルならではのパーツを使用していく。							
授業方法	講義～展示～実践(技術・モデル)							
授業目標	思考・判断・表現	お客様の要望や、ブライダルシーンを想定したネイルアートを考える。						
	技能	10本のデザインバランスを考えたアートを施す。						
	関心・意欲・態度	モデルに合わせ工夫する。						
	知識・理解	イメージに近づけるための理論を正しく理解する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	ネイルチップ作成		10	60	20	10	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 2年2月	ブライダルネイルチップの作成(ドレスに合った繊細な作品を作る)							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	ブライダルの現場では基礎技術に加えて、特殊加工されたストーン等を用いたドレスに合わせたデザインが要求される。経験豊かな講師が指導にあたる。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	ブライダルプランナー		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1・2年次	28時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年5月～2年7月	時限		資格対応				
担当教員	小澤岳志 / 田中有希 / 宮川真理子					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	一人ひとりのお客様のニーズを的確に見抜き、一生に一度のブライダルシーンを創造する能力を身につけた人材を育成する。							
授業方法	講義～検定対策～プランニング							
授業目標	思考・判断・表現	ブライダルの歴史と現状を踏まえ、今後の展望について考える。						
	技能	ブライダルメニューの多様化を理解し、要望に合わせたプランを立てる。						
	関心・意欲・態度	ブライダルの基礎知識を付け、プランナーとしての意識を高める。						
	知識・理解	ブライダル実務理論やマーケットの把握をする。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判 断・表現	技能	関心・意 欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	検定試験		20	20	30	30		100
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材	ウェディングプランナーテキスト							
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年5月	ブライダルの基礎知識(一般知識や実務理論を理解する)							
2回 1年10月	ブライダルサービスをする側とされる側(プランナーの役割と重要性を理解する)							
3回 1年1月	お客様のニーズに合わせる(ブライダルの現状と多様化を考える)							
4回 2年4月	プランナー検定対策(過去の出題傾向を理解する)							
5回 2年7月	ブライダルプランの作成(プランニングの難しさや楽しさを学ぶ)							
時間外での学習								
講師の実務経験と 授業の関係	ブライダルプランナーは多くの人が集い、新しい絆が生まれる空間をクリエイトする感動的な職業であるとともに、完璧を求められる繊細な仕事である。良い面だけでなく、現場の難しさ等を伝えながら講義をしていく。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	フラワーアレンジメント		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1・2年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年5月・2年1.2月	時限		資格対応				
担当教員	上條千佳					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルシーンにおいての花の役割を理解し、実際にアレンジメントすることで、花を身近に感じるようになる。花によって幸福感や感謝の気持ちを演出できるよう、思いを込めて制作する。							
授業方法	講義～制作～評価							
授業目標	思考・判断・表現	花にはどのような役割があるか考える。						
	技能	実際に花に触れること、自分らしい作品を造る。						
	関心・意欲・態度	ブライダルシーンにおいての花の役割を理解する。						
	知識・理解	花の特徴や色の知識を身に付ける。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	作品制作		20	20	30	30	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年5月	花の水揚げ・フラワーボックス制作(花の系統によって水揚げ方法が異なることを学ぶ)							
2回 1年1月	色の知識・プチブーケ制作(色の生理的効果・心理的効果を理解する)							
3回 2年2月	ブライダルブーケ制作<卒業制作>(花の知識・色の知識を踏まえ、個性溢れる作品を造る)							
時間外での学習								
講師の実務経験と授業の関係	ブライダルプランナーは多くの人が集い、新しい絆が生まれる空間をクリエイティブする感動的な職業であるとともに、完璧を求められる繊細な仕事である。良い面だけでなく、現場の難しさ等を伝えながら講義をしていく。							
備考								

授業計画(シラバス)

授業科目名	テーブルマナー		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1・2年次	12時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1・2年 12月	時限		資格対応				
担当教員	エクシブ軽井沢 / メトロポリタン長野					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルプランナーは、世界の様々な食文化を理解していなければならない。 またブライダルの現場を実際に体験することで、業界への理解を深めビジネスマナーや立ち居振る舞いも体得する。							
授業方法	会場見学～プランナー講義～テーブルマナー講習							
授業目標	思考・判断・表現	マナーの重要性について考える。						
	技能	正しいテーブルマナーを体得する。						
	関心・意欲・態度	お客様の気持ちを考えたり、マナーや立ち居振る舞いを学ぶ。						
	知識・理解	世界の食文化を理解し、多様される日本食・フランス料理の知識を付ける。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	マナーの実践		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年12月	式場見学、和食会席マナー(食器の使用法、和食の礼儀作法を正しく理解する)							
2回 1年12月	式場見学、フランス料理のマナー(カトラリーの使用法、洋食の礼儀作法を正しく理解する)							
時間外での学習	日頃の食事でも、学んだマナーを意識し実践する。							
講師の実務経験と授業の関係	机上では学ぶことのできない、実際の料理とカトラリーを使用し五感で体得する。 経験豊富な講師から、食事のマナーを具体的に学ぶ。							
備考	お客様の気持ちを考えながら学ぶことで、今後の学習に生かしていく。							

授業計画(シラバス)

授業科目名	ヘアアレンジ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	時間
			実技			ビューティ ビジネス科	1・2年次	2時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年1月・2年9月	時限		資格対応				
担当教員	柏原公美子					講師の 実務経験	年以上	3
授業概要	ブライダルシーンでのヘアアレンジのトレンドを学び、ウィッグを使用し人にアレンジをする技術を身に付ける。							
授業方法	展示～実践							
授業目標	思考・判断・表現	要望やイメージを考えながら判断する。						
	技能	ウィッグを使用し、指定のヘアスタイルを完成させる。						
	関心・意欲・態度	ヘアスタイルを理解し、効率よく技術ができる。						
	知識・理解	実際のお客様とウィッグとの違い(扱い方等)について理解しながら実践する。						
	備考							
評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	作品制作		20	40	20	20	100	
	合計							
評価の表示	資格試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～90	89～80	79～60	59～30	29～0
			5段階評定	5	4	3	2	1
テキスト・教材								
その他参考書								
授業計画								
実施回・期間	授業内容・目標							
1回 1年1月	ベースウェーブ・一束結び・ハーフアップ・夜会巻(ヘアアイロンの使用法、基礎技術を身に付ける)							
2回 1年9月	トップノット・編み込み・ネープシニオン・クイックアップ・自由制作(応用技術を用いて作品作りをする)							
時間外での学習	日々のトレーニングを行い、身に付けた技術力を維持していく。							
講師の実務経験と授業の関係	ヘアアレンジの流行やポイントを抑えて、お客様のご要望に合わせたアレンジができるようにする。美容師免許を持った講師が教えることで、現場で通用する技術を習得する。							
備考								